

平成28年度富山地域フォーラム開催 報告書

- 開催日時 平成28年11月11日（金）13：30 ～ 17：30
- 開催場所 富山大学 工学部 総合教育研究棟 1階 多目的ホール
- テーマ 国土形成計画から富山地域の活性化を考える
- 参加者 165名（企業関係者49名、大学関係者24名、学生92名）
- 講演内容

1. スーパー連携大学院の取り組みと進捗状況について

スーパー連携大学院コンソーシアム統括コーディネーター 宇梶 純良

概要

高度人材育成の多様化への挑戦として、2011年4月に開講したスーパー連携大学院は今年が最終年度にあたり、これまでの取り組みと進捗状況並びに今後の方向性についてなど、以下の項目の詳細な説明があった。

- （1）スーパー連携大学院設置の背景
- （2）スーパー連携大学院の実績と課題
- （3）スーパー連携大学院の今後の方向性

2. 「あらたな『北陸圏広域地方計画』」

国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所 所長 福濱 方哉

概要

平成21年8月に策定された「北陸圏広域地方計画」に基づき、富山・石川・福井の北陸3県は着実に前進してきた。その後、平成26年7月に国土交通省でまとめられた「国土のグランドデザイン2050」をベースとして、平成28年3月に北陸圏の今後10年を見据えた「あらたな『北陸圏広域地方計画』」が発表された。この計画について以下の項目の詳細な説明があった。

- （1）北陸圏の現状と課題
- （2）計画の体系
- （3）北陸圏の将来像
- （4）新しい将来像実現に向けた目標・戦略
- （5）広域連携プロジェクト
- （6）隣接圏域との交流・連携

3. 「スマートインフラストラクチャー」

富山大学 工学部長

堀田 裕弘

概要

この先人口減少が避けられず、また東京圏への一極集中が加速し、都市に比べて地方経済は低迷したままである。このような現状認識の基で、内閣府が取り纏めた「地方創生」の基本方針の諸政策、特に『超スマート社会』の実現に向けての科学技術イノベーション政策など、以下の項目の詳細な説明があった。

- (1) まち・ひと・しごと創生基本方針2016 概要
- (2) 第5期科学技術基本計画概要
- (3) 科学技術イノベーション総合戦略2015における重点化対象施策について概要
- (4) 総合科学技術・イノベーション会議・サイバー社会における産業構造の変革と科学技術イノベーション政策
- (5) 平成28年度科学技術白書
- (6) 経済産業政策局・新産業構造部会の検討の背景とミッション
- (7) 産業競争力懇談会 COCN の推進テーマ活動が加速する Society 5

4. 「北陸・富山の防災力強化と地域の活性化」

富山大学大学院理工学研究部 教授

原 隆史

概要

日本の大動脈である太平洋沿岸の地震等の災害発生は避けられず、万一発生した際のBCP（事業継続計画）拠点作りが急がれる。一方、富山地域は地震・土砂災害水害のリスクは低い。この“安全”に産・学・官一体となってさらなる調査・評価・対策を施し、富山の安全性を全国に公表してBCP拠点作りに結び付け、富山地域の活性化を計るべきとの提案と、最新の土木・建築構造物の強化法についての紹介があった。

5. 「住みたくなる・訪れたくなる北陸・富山の地域基盤づくり」

富山大学大学院理工学研究部 教授

久保田 善明

概要

富山には環水公園・中島閘門・松川べりなど身近に歴史構造物や都市景観施設等があり、立山連峰をはじめとしたすばらしい自然景観などもある。また富山にはもとも優れたデザインに関する下地もある。これら強みの構成要素を関連づけることで、より高い価値・魅力を生むことができる。その関連づけの手段としてのデザイン、すなわち「プロダクト～建築～都市～地域」をデザインで結び“知的デザイン都市”作りを富山大学と一緒に研究して行きましょうとの提案があった。

■ 当日の様子



開会挨拶 富山大学理事 鈴木基史



開会挨拶 富山大学工学部長 堀田裕弘



司会進行 富山大学工学部副学部長 岡田裕之



会場風景



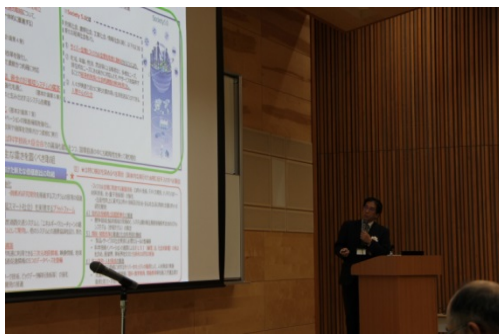
スーパー連携大学院コンソーシアム 統括コーディネーター 宇梶純良氏講演



国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所 所長 福濱方哉氏講演



富山大学 工学部長



堀田裕弘講演



富山大学大学院理工学研究部 教授 原 隆史講演



富山大学大学院理工学研究部 教授 久保田善明講演



質疑応答



質疑応答



会場外放映



閉会挨拶 富山大学工学部副学部長 岡田裕之

以上